



# 八幡鍍金工業株式会社

## 2019年度 環境経営レポート

(2019年4月～2020年3月)



エコアクション21

認証・登録番号0004215

(2009年10月 2日 登録)

(2019年10月 2日 更新)

作成： 2020年3月31日

改訂：

# 環境経営方針

## <環境理念>

我々八幡鍍金工業株式会社は金属表面処理の事業活動の中で、環境保全を重要課題として再認識し10年,50年,100年後も自然と共存できる企業体制を構築していく事を環境理念として環境経営方針を掲げ、経営者及び従業員一同一丸となって継続的に環境との共存を推進します。

## <環境保全への行動指針>

当社 金属表面処理の事業活動である防錆処理による環境負荷の低減のみならず作業工程を見直し、より一層環境との共存の為に次の様な環境経営方針を定めます。

- 1.環境関連法令及び、条例などの規制事項を順守します。
- 2.以下について環境目標及び実施計画を立て、企業体制を継続的に改善し、積極的に環境負荷低減に努めます。
  - ①温室効果ガスである二酸化炭素の低減
  - ②節水の積極的な取り組み
  - ③希少金属・化学物質使用量の削減
  - ④産業廃棄物の減量
  - ⑤グリーン購入
- 3.当社で働くすべての従業員に環境経営方針を周知します。
- 4.環境経営方針及び環境活動レポートをホームページにて公開し、常時閲覧可能にします。

制定日：2008年11月18日

改定日：2019年08月22日

八幡鍍金工業株式会社

代表取締役社長

**八幡義一**

## □登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

八幡鍍金工業株式会社  
代表取締役社長 八幡 義一

(2) 所在地

本社:東京都江戸川区平井5-20-9  
工場:東京都江戸川区篠崎町3-33-11

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

担当者:八幡 直人 TEL:03-3617-7707  
責任者:八幡 浩二 TEL:03-3670-2120

(4) 事業内容 (認証・登録の範囲)

金属製品等のめっき、塗装および表面処理加工  
めっき等種類:ダブルニッケル・黒ニッケル・クロム・黒クロム・代用金  
                  本金・各種ブロンズ・各種つや消し・無電解ニッケル・PTFE複合  
環境対応処理:無電解ニッケル(RoHS対応)

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2017年度		2018年度		2019年度	
		平井	篠崎	平井	篠崎	平井	篠崎
主要製品 処理面積	m <sup>2</sup>	※ダブル+シングル					
平井   篠崎		1222.949		1189.844		1095.459	
従業員	人	9	25	9	25	8	24
		34		34		32	
床面積	m <sup>2</sup>	平井工場		篠崎工場		全工場	
		716.58		963.44		1680.02	

※シングルは品物を1つ、ダブルは2つ  
掛けるキャリアを有する自動機の事

(6) 事業年度

4月～翌年3月

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	工場	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量 (エネルギー総量)	kg-CO2 /年	平井	30,401	39,460	35,388
		篠崎	227,383	379,758	355,026
石油系・ガソリン燃料 含む	CO2 排出係数	平井	0.474	0.474	0.474
		篠崎	0.449	0.449	0.449
産業廃棄物排出量	t/年		23.3	15.7	12.2
総排水量	m <sup>3</sup> /年	平井	424	460	300
		篠崎	7,265	6,640	6,226

# 環境目標及び取組計画と評価 2019年度

2020/3/31

環境項目	環境取組計画の内容	環境目標	事業所	実行責任者	2016	2017	2018	2019			評価 (次年度取組方向)	
					年度実績	年度実績	年度実績	目標	実績	達成率		
二酸化炭素の削減	電気 使用量	①電気ヒーター間欠による節電 ②メンテナンスによる電力負荷低減(ベアリング、ベルト等) ③不要な電灯、電化製品のオフ	対前年度比 1%削減	平井	加藤(貴)	55.2	57	54	53.5	57.9	92.4%	○ 良い結果がでたので継続していきたい
		①不要な機材ポンプ局所排気装置のスイッチオフ ②メンテナンスによる電力負荷低減(ベアリング、ベルト等) ③不要な電灯、電化製品のオフ	篠崎	八幡(浩)	544.7	635.9	565.1	559.4	513	109.1%	○ 年間でも達成できたので、継続していきたい	
	ガス 使用量	①乾燥釜効率化 ②釜、または熱交の清掃(熱交換率Up)	Kg-CO2/百万円 CO2/売上	平井	加藤(貴)	65.9	53.6	50	49.5	50.4	98.2%	○ 良い結果がでたので継続していきたい
		①ボイラー稼働時間の短縮 断熱剤等による保温・余熱で流せる所はボイラーを切る		篠崎	大日向	864.9	882.9	805.8	797.7	869	91.8%	○ 仕事の終わる20~30分前には消す様に心掛けたい。
節水対策	水道 使用量	①漏水箇所防止の徹底	対前年度比 3%削減	平井	八幡(直)	1.81	1.72	1.71	1.66	1.34	123.9%	○ 仕事量減少により、節水の効果が現れ難くなってしまった。節水対策自体は悪くないので来年度も同様の取組を続けて行く。
		①高圧洗浄機導入による、清掃作業の効率化 ②各ライン内の水洗オーバーフロー水量の見直し ③各ライン内の水洗タンク更新周期の研究 ④必要ない水は止める	m <sup>3</sup> /百万円 水道使用量/売上	篠崎	佐藤	16.5	15.7	13.1	12.7	13.4	94.8%	○ Wラインの各オーバーフローを起こさない様に液面調整をしたら良い結果になった。
			工水	佐藤	14	13.9	11.7	11.3	11.7	96.6%	○ ろ過機掃除の時、活性炭を散らばらないようにしたり、水を強すぎないように使ったら良い結果になった。	
産廃物の軽減	産業 廃棄物	①持ち込み梱包剤の再利用 ②事務所等の事務用紙の再利用 ③ゴミを社内に溜めない	対前年度比 1%削減	平井	加藤(貴)	1.39	1.57	1.45	1.44	1.41	102.1%	○ 良い結果がでたので継続していきたい
		①持ち込み梱包剤の再利用 ②事務所等の事務用紙の再利用 ③必要無いものは入庫せず、無駄な廃棄物を出さない	Kg/百万円 廃棄量/売上	篠崎	新田	9.1	7.48	8.03	7.95	9.68	82.1%	○ これからもこのように続けていきたいと思います。
	汚泥	①スラッジを乾燥し、含水量をなるべく減らす。 ②鍍金液をこぼさず、なるべく回収する		篠崎	大日向	62.3	90.2	58.7	58.1	49.2	118.1%	○ 2ヶ月間乾燥し、捨てるという方法で結果が良かった。
化学物質削減	ニッケル 金属	①効率のよいラインへのNiめっき製品の移動 ②Niめっき液回収の効率化 ③Niチップの落下防止		篠崎	緒方	21.3	33.4	32.9	32.2	28.2	114.2%	○ 適正な電気で流す様心掛けた事が良い結果に繋がった。来年はできる限りキャリアの空きを減らし、詰めて流し、余分なNi消費削減。
	銅金属	①必要以上の膜厚をつけない。		篠崎	古川	5.2	19.8	12.9	12.64	9.8	129.0%	○ 時短稼働での効率化と曙プレーキの単価の良さに助けられ良い結果になった。アノードケースも少しづつ減らしても、必要以上の膜厚をつけない努力をキープできました。
	75% 硫酸	①必要以上の濃度の硫酸を薬品注入タンクに入れない。 ②過度な薬注や脱脂液処理への過剰使用に気をつける		篠崎	山崎	33.2	38.7	35.4	34.7	38.7	89.7%	○ 来年もこの調子で継続していきたいと思います
	塩素	①必要以上の濃度の塩素を薬品注入タンクに入れない ②塩素容器内を水洗いし無駄なくタンクへ注入	対前年度比 2%削減	篠崎	山崎	31.3	30.1	26.4	25.9	30.1	86%	○ 多少は正策を立てた月があったので来年は是正策を立てないようにがんばりたいと思います
	苛性 ソーダ	①必要以上の濃度の苛性を薬品注入タンクに入れない	Kg/百万円 使用量/売上	篠崎	山崎	23.7	20.6	18.9	18.5	19.3	96%	○ 来年もこの調子で継続していきたいと思います
	青化 ソーダ	①青化銅・真鍮・代用金めっきの不良を出さない様にする		篠崎	古川	1.18	1.47	0.67	0.66	0.89	74%	△ 不良率は少なかったものの、液管理不足で補給量が増えたのに加えて、ろ過器から液が漏れてしまったり、補給液のボトルに穴が空いてしまったので、かなり青化ソーダの使用量にムラを出してしまった。液管理に注意し
	ポリミ No.500 1019ケヤ	①塗装作業の効率化 ②塗料の再利用		平井	加藤(貴)	1.14	1.04	0.9	0.88	0.97	91%	○ 良い結果がでたので継続していきたい
グリーン購入	①環境に配慮した品の購入を推進する	対前年度比 3件増件	平井	八幡(直)	11	12	12	15	17	113.3%	○ 定期的なグリーン購入が出来る様になってきた。これからも環境配慮製品へ置き換えられる物は無いか考えていきたいと思う。	

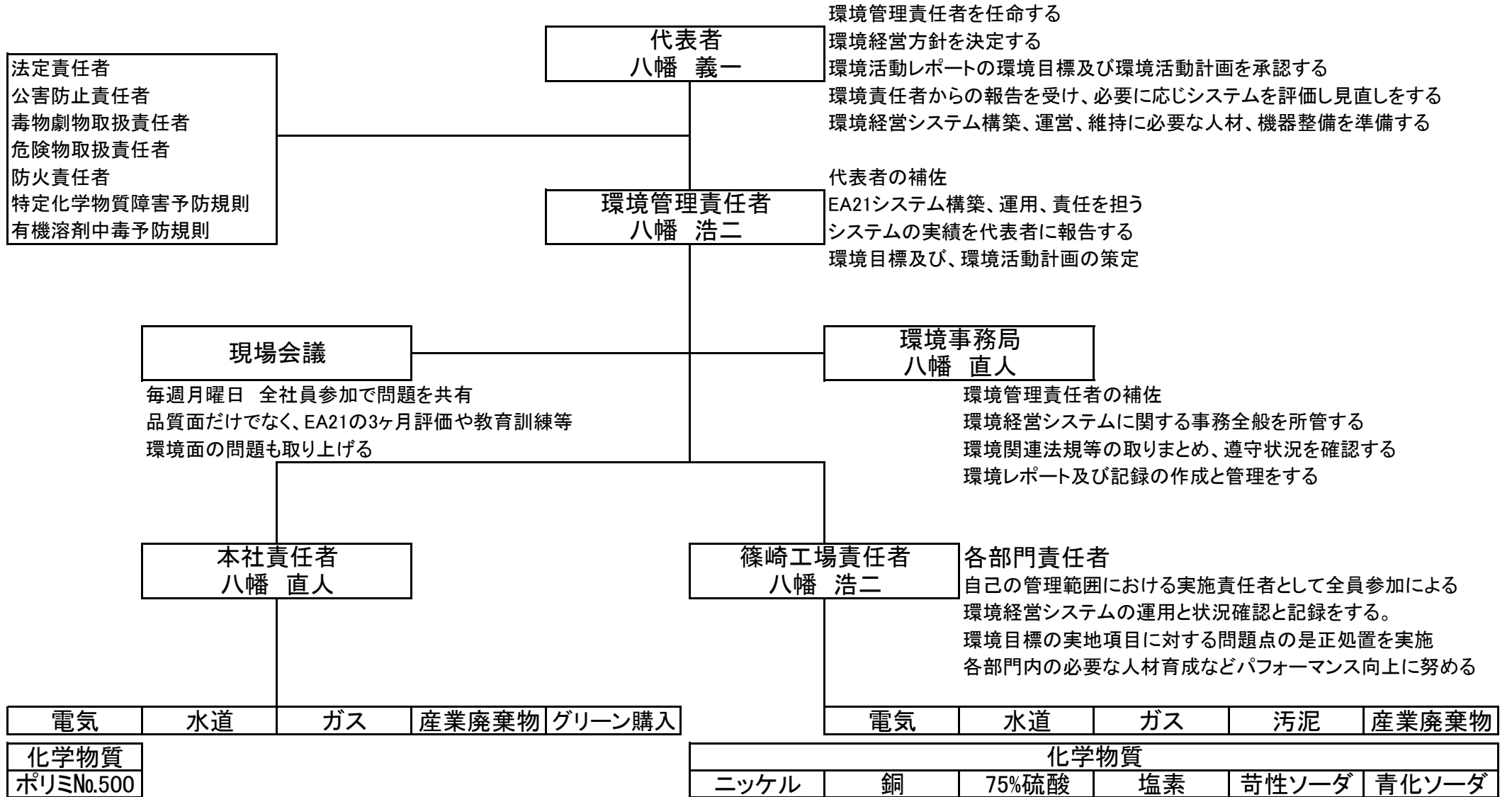
※評価○=80%以上△=70%以上×=70%未満(2009年4月改訂)※評価×の物に対しては是正策を立てる※加工業が直面している問題を踏まえ、基準目標値に当たっては年度売り上げに対しての数値を基準する事にした。  
 ※二酸化炭素排出係数は一定期間固定とし、環境目標の管理や経年比較が可能となる様にする。※ガス排出係数を0.0509(kg-CO2/MJ)単位発熱量を45(MJ/m3N)とする。※2018年4月~2019年3月までの数値を2018年度としている。  
 ※電力排出係数を2017年度各電力会社係数へ更新。篠崎0.449(kg-CO2/kWh)、平井0.474(kg-CO2/kWh)とした。

## 環境経営目標(単年度及び中長期目標)

環境項目	環境目標	事業所	実績・基準	単年度	中長期目標		責任者
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素の削減	電気 使用量	平井	57.87	57.29	56.72	56.15	加藤 (貴)
		篠崎	512.92	507.79	502.71	497.69	八幡 (浩)
	ガス 使用量	平井	13.76	13.62	13.49	13.35	加藤 (貴)
		篠崎	237.05	234.68	232.33	230.01	大日向
節水対策	水道 使用量	平井 上水	1.34	1.30	1.26	1.22	八幡 (直)
		篠崎 上水	13.38	12.98	12.59	12.21	佐藤
		工水	11.71	11.36	11.02	10.69	佐藤
産廃物の軽減	産業 廃棄物	平井	1.41	1.40	1.38	1.37	加藤 (貴)
		篠崎	9.68	9.58	9.49	9.39	新田
	汚泥	篠崎	49.17	48.68	48.19	47.71	大日向
化学物質削減	ニッケル 金属	篠崎	18.30	17.93	17.58	17.22	緒方
	銅金属	篠崎	2.76	2.70	2.65	2.60	古川
	75% 硫酸	篠崎	38.65	37.88	37.12	36.38	山崎
	苛性 ソーダ	篠崎	30.15	29.55	28.96	28.38	山崎
	塩素	篠崎	19.35	18.96	18.58	18.21	山崎
	青化 ソーダ	篠崎	0.89	0.87	0.85	0.84	古川
	ホリミNo.500 1019クヤ	平井	0.97	0.95	0.93	0.91	加藤 (貴)
グリーン購入		平井	環境に配慮した資材・消耗品の購入を推進する				八幡 (直)

2020/3/31

# EcoAction 21環境対策組織図



# 環境関連法規・その他要求事項及び順守状況のチェック

八幡鍍金工業株式会社

法規名称	規制の概要	該当		順守
		本社	篠崎	
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 [フロン排出抑制法]	フロン類の適正な回収・破壊による大気中への放出抑制の遵守	/	○	✓
	3ヶ月に1度の簡易点検・1年に1度の定期点検			
下水道法	排除基準の遵守義務	○	○	✓
	特定施設の設置届出	○	○	✓
	事故時の応急措置・届出義務	○	○	✓
	排水濃度の測定・記録義務(5年間)	○	○	✓
改正水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設の点検	○	○	✓
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 [廃棄物処理法]	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	○	○	✓
	産業廃棄物の運搬又は処分を自らおこなう場合の基準	○	○	✓
	産業廃棄物の保管基準	○	○	✓
	産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の委託先	○	○	✓
	産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の基準	○	○	✓
	特別管理産業廃棄物管理責任者の設置義務	○	/	✓
	産業廃棄物管理票の交付義務	○	○	✓
	管理票の記載事項確認及び保存	○	○	✓
毒物及び劇物取締法 [毒劇法]	毒物劇物取扱責任者の設置・届出	○	○	✓
	毒物劇物取扱責任者の資格	○	○	✓
	毒物劇物の取扱	○	○	✓
	毒物劇物の表示	○	○	✓
	毒物劇物の事故時の応急措置・届出、盗難紛失時の届出	○	○	✓
	毒物劇物の取扱に関する届出 (電気めっき業者がシアン化合物を取扱う場合は届出義務有り)	○	○	✓
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律[PRTR法]	事業者の責務	○	○	✓
	化学物質の排出量、移動量の把握及び届出	○	○	✓
	MSDSの提供	○	○	✓
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任(10~49人)の事業場	○	○	✓
	作業環境測定の義務	○	○	✓
	健康診断の義務	○	○	✓
	化学物質に関するリスクアセスメント	○	/	✓
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 [グリーン購入法]	グリーン購入を行なう	○	○	✓
有機溶剤中毒予防規則 [有機則]	有機溶剤の取扱所での掲示	○	/	✓
	有機溶剤作業主任者の選任	○	/	✓
	局所排気装置の定期自主点検の実施	○	○	✓
	作業環境測定の義務	○	○	✓
	特殊健康診断の実施・報告	○	○	✓
特定化学物質障害予防規則 [特化則]	密閉又は局所排気装置の設置義務	○	○	✓
	関係者以外の立入禁止処置	○	○	✓
	特定化学物質作業主任者の選任	○	○	✓
	健康診断の義務	○	○	✓
騒音規制法	規制基準の遵守	○	○	✓
振動規制法	空気圧縮機及び送風機(原動機の定格出力が7.5kw以上に限る)	○	○	✓
東京都環境基本条例	環境負荷の低減の努力	○	○	✓
	公害防止・自然環境保全に必要な措置	○	○	✓
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 [東京都環境確保条例]	工場認可及び工場変更認可	○	○	✓
	公害防止管理者の選任と届出	○	○	✓
	適正管理化学物質の使用量等の報告	○	/	✓
東京都下水道条例	東京都下水道条例の責任者の選任と届出	○	○	✓

環境関連法規の改廃状況を確認しました。評価の結果違反はありません。

なお関係当局より違反の指摘、第三者からの訴訟もありません。(2020年3月31日)

## 代表者による全体の評価と見直し 2020年3月31日

EA21開始12年目（代表者交替後3年目）あたる2019年度期の締めくくりとして2020年2月に10年間継続企業として表彰を受け、「課題とチャンス」を意識した活動に一定の評価を頂く機会に恵まれました。

弊社では開始当初から、「単なる使用料の低減」ではなく、「売上当たりの使用量の低減」を指標としています。前年比で業績を落とした今期であるにもかかわらず、評価で「○（達成率80%以上）」がついた項目が殆どあった今期は非常に経費を抑えた環境経営に沿った営業を続けてきた証明であると考えています。

今回達成率を落として△となっているものもありますが、増産による補給量の増加となっている為で、担当者の方で原因をつかんでいます。引き続き、工場内の5S、めっき作業の効率化を製造部が中心となって全社的に行っていくことで、売上の増減による影響を今後も最小限に抑えることが可能であると考えています。

今後も、環境目標と取組内容を再確認し、継続して自律的な環境経営に基づいた組織作りを積み重ねエコアクション21の活動を通して「社員の誇れる企業」に少しずつ近づいて行きたいと考えています。

代表の見直し結果	必要無	必要有
① 環境方針の変更	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 環境目標の変更	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 環境活動計画の変更	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 環境経営システムの変更	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

以上

八幡鍍金工業株式会社

代表取締役社長 **八幡義一**